

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 2月号

1. とんど祭り

郡家支店は1月15日、しめ縄やお守り、だるま等を豪快に焼く「とんど祭り」を同J A支店駐車場で開いた。

満月と神聖な火による浄化の力で集落の人々の1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願う伝統的な祭りで、支店職員11人が参加した。しめ縄など正月飾りやスルメ、餅、みかんを一箇所に積み上げて燃やし、本年の無病息災・五穀豊穰を祈り厄除けを行った。

参加した職員は「昔ながらの風習を職員同士で行いモチベーションアップに繋がった。今年一年笑顔で元気に過ごしたい」と話した。



2. 農機購入者安全研修会

鳥取地区農機センターは1月28日、農機購入者安全研修会を鳥取市のJ A本店で開き、農機購入者やJ A職員ら約40人が参加した。

研修会では県内で発生した事故事例を踏まえたトラクターやコンバインなどの安全作業の注意点を伝え、日常点検・安全確認の徹底が事故防止につながることを説明した。また、取り扱い説明書を読むなど、操作の基礎を守ることが重要だと強調した。さらに、新機種の紹介や重量を軽減させるアシストスーツを実演でPRするなど、充実した研修会となった。



3. 白ネギ播種作業

育苗施設で、管内の生産者に供給する令和3年産の白ネギ育苗が1月末から始まった。生産者からの苗注文を受け、J A職員らが育苗箱に専用の紙ポットをセットして播種し、品質の良い苗づくりに取り組んでいる。

生産拡大を進めていく中で高まる育苗需要に対応するため、管内の育苗施設をフル稼働して約10,000箱の育苗作業にあたる。令和3年産は、管内生産者が主に生産する秋冬作型のほか、春や夏の作型を育苗する計画である。



4. 共済推進決起大会

2月3日、令和3年度共済推進総決起大会を鳥取市で開いた。役職員約100人が参加し、事業収益の確保やコンプライアンスの徹底など今年度の取り組み方針を決議した。

J A鳥取いなばの影井組合長は「コロナ禍などで厳しい環境ではあるが、組合員・利用者に寄り沿い、全支店が早期目標達成に向け一丸となり推進活動に取り組もう」と激励した。



以上